

# 経営比較分析表

宮崎県 国富町

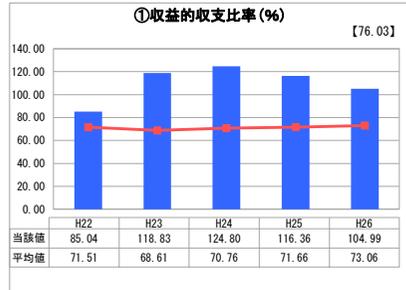
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	6.76	2,918

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
20,464	130.63	156.66
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
1,380	8.81	156.64

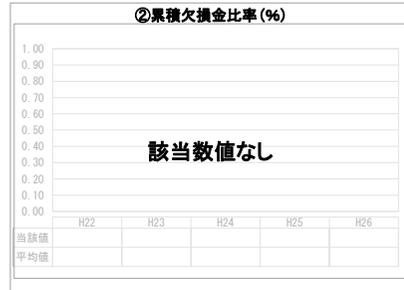
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

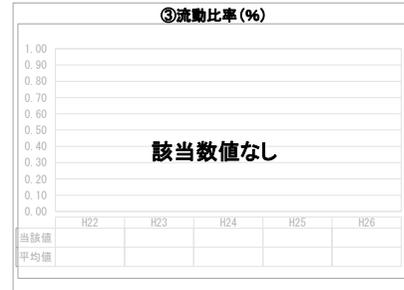
## 1. 経営の健全性・効率性



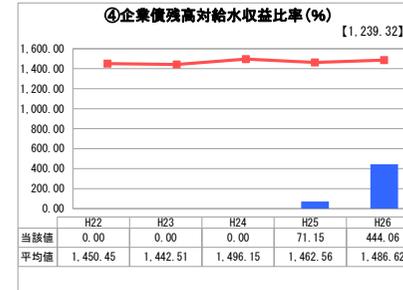
「単年度の収支」



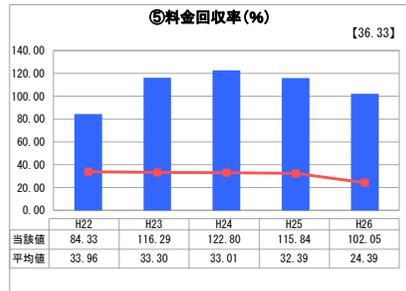
「累積欠損」



「支払能力」



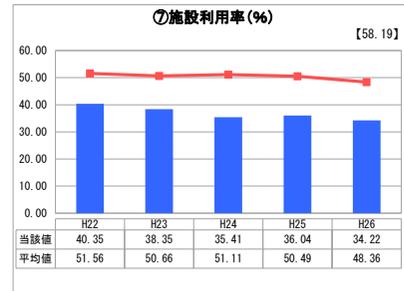
「債務残高」



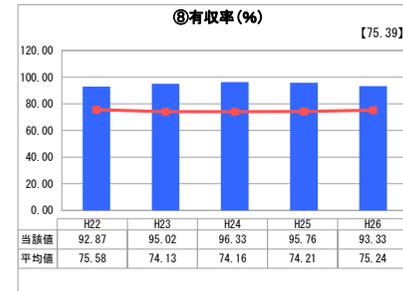
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

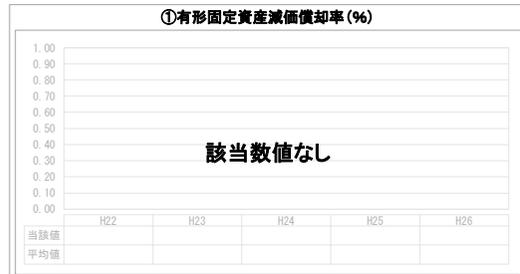


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

事業等の費用は給水収益や一般会計からの繰入金により経営を行い、収益的収支比率及び料金回収率は類似団体より高く、経営は健全に行われています。

施設の効率性については、少子高齢化及び人口減少により施設利用率が類似団体より低いですが、給水原価及び有収率が示しているように、漏水が少なく施設の稼働が収益につながっていることから、効率的に経営されています。

しかし、水源水量減少や水源及び導水管の老朽化により災害リスクが生じてきました。そのため、上水道との統合整備事業を平成25年度から国庫補助及び企業債借り入れにより行っています。

平成28年度から上水道に統合され、施設管理の一元化による維持管理性の向上が行われます。

### 2. 老朽化の状況について

管路の老朽化については、管路の経年化が比較的低く、有収率が高いため類似団体と比較して管路更新率が低いですが、平成28年度の上水道との統合後は計画的に更新し漏水等の改善に努めていきます。

### 全体総括

これまでは、自己財源等により経営を行ってききましたが、水源水量減少や経年による水源及び導水管の老朽化により災害リスクが生じてきました。

そのため、平成25年度より上水道との統合整備事業を行い、28年度に統合予定であります。

上水道統合より、施設管理の一元化による維持管理性の向上、並びに、地域住民への安全で安定した水道水の供給が行われます。

また、管路については上水道と同じく更新率が低いことから、計画的に更新し改善に努めていきます。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。